

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2673000127		
法人名	三菱電機ライフサービス株式会社		
事業所名	長岡京ケアハートガーデン グループホーム西山の郷 (たけ)		
所在地	京都府長岡京市奥海印寺三反畑8-1		
自己評価作成日	平成27年2月10日	評価結果市町村受理日	平成27年6月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> 身体的な重度化の中、咀嚼や嚥下、身体状態に配慮して形態を工夫したり、好みのものを取り入れるなど、食べることを楽しさを大切にしている。 季節感を大切にし、得意なことや好きな事をレクリエーションに取り入れて、楽しみや喜びの輪を広げ、入居者同士の繋がりを大切にしている。他のフロアーの方とも交流がある。皆でできる場、一人の時間、入居者同士と、その時その時を大事に過ごして頂いている。 何事も職員間で話し合い、進めることができる職場環境である。 医療職との連携を密にとり、またご家族にも連絡を取りながら体調の見守りをしている。 10月1日から共有型デイを始めた。利用者にくつろいだ雰囲気の中で穏やかな時間を過ごしてもらえるよう努めている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/26/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyouvoCd=2673000127-00&PrefCd=26&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル
訪問調査日	平成27年3月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当該ホームは、静かな住宅地にあり地域との良好な関係が築かれ、地域の子供たちや多種にわたるボランティアとの交流があったり、ホームで行われる夏祭りは、地域の方を招いて高齢者から若い世代の方が集う場所となっています。家族交流会においては民生委員や近隣の方の参加を得たり、利用者が散歩している際には近隣の方とのあいさつする等交流を深めています。職員研修が充実しており、法人の援助もあり定期的に内部・外部研修にも参加し自己研鑽に努めています。また医療機関とも利用者の情報を共有し良好な関係を築きながら健康管理を行える体制が整えられています。また、行政からの依頼を受けて地域で行う認知症サポーター養成講座に講師として参加することで、地域の方々にグループホームに理解を得られるよう取り組んでいます。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日唱和することで原点に立ち返ることをしている。お一人お一人の思いに耳を傾け、やりたいこと・できることの継続を支援している。 ・医療面に関してもかかりつけ医を継続してもらい、地域の中で安心して生活して頂いている。 ・初詣やお花見等地域の神社などへ行き、馴染みの場所を大切にしている。お祭りなど地域の行事に参加出来る機会を大切に、地域の方との交流を大切にしている。また、書道など展示会への出品する機会を地域ボランティアが作って下さり、参加する事の喜びを感じて頂いている。 ・幼稚園児の訪問や大正琴などのボランティアの訪問に地域交流の温もりを感じている。 	「個人の尊厳を大切に。画一性・おしつけの排除。地域社会との融合を図る。」という事業所理念を入職時から理解できるよう伝え、日々のケアを通して利用者主体の活動を心がけています。また、ユニット会議では職員の意味統一を図り、朝礼時には唱和して理念の共有を深め、実践に繋げるように努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方との挨拶を大切にしている。また、散歩をしているときなど地域の方から声を掛けていただくこともあり暖かい気持ちを頂いている ・季節を味わえる作物や四季折々のお花を頂くこともある。 ・憩いの時間には近隣の喫茶店に行くなど地域との繋がりを大切にしている。 ・中学生には体験学習を通じて認知症を理解してもらえる機会がもてている。 ・夏祭りの盆踊りには地域のボランティアが踊りに参加頂いたり、近隣の方々にお知らせをして参加を呼びかけ、交流の機会となっている。 	地域の行事等は民生委員や近隣の方より情報を得ています。また行事の誘いもあり、小学校の運動会やほたる祭り、流鏝馬神事等に参加しています。散歩の途中に気軽に声をかけてもらったり、幼稚園児の定期的な訪問や中学生の体験学習、多様なボランティア等も受け入れています。近隣の方も気軽に立ち寄り等地域の中で良好な関係が築かれています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の体験学習の時に認知症の理解に繋がる取組みを実施したり、見学者の対応や相談の窓口として地域の方々へ貢献出来るよう努めている。 キャラバンメイトとして市の依頼より、認知症サポーター養成講座の講師を派遣している。 		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に一回運営推進会議が開催され、ユニットとしての現状を報告させてもらい、その場で聞かせてもらう意見や情報を大切に活かしている。また運営推進会議で話し合った事をユニット会議で報告、職員が共有する事でケアの向上を図っている。 ・全ての家族向けに、広報誌を通じて内容を公表している。 	<p>運営推進会議は2ヶ月に1度家族や市高齢介護課担当者、地域包括支援センター担当者、民生委員、地域協力住民、地域協力関係施設施設長、法人課長等が参加し開催されています。ホームからは利用者の現状や行事、事故や苦情も全て報告しています。家族より提案があり水族館への遠足が実現したり、参加者からは地域の情報や問題に対するアドバイスをもらい運営に活かせるよう努めています。</p>	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には高齢介護課・地域包括支援センター・民生委員等、市町村との連携がある。 ・地域のグループホーム連絡会ではグループホーム間での連携と共に行政や地域包括支援センターからの参加もあり、地域との連携を深める機会となっている。 	<p>運営推進会議には、市町村の担当者が出席しホームの状況を知ってもらっています。また具体的な問題点や制度上の分からない事は法人本部より担当者に相談しています。また、市の医師会が行う認知症の学習会には職員が参加する等、様々な研修会の連絡もあり出席しています。行政とは協力関係も良好であり講師の依頼なども受けています。</p>	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・特に夕方以降外へ出て行方不明になる可能性のある方が、職員が気づかぬうちに外出してしまう危険性がある。常に所在確認を職員が声を掛け合い行ってそばに寄り添うなどして、安心・安全に努めている。 ・下肢筋力の低下や歩行が不安定な方には安全のために待ってもらうこともあるが、出来るだけ早く対応して気持ちや行動を閉じ込めることの無いように心がけている。 ・ふらつきや転倒の危険のある方等、ヒヤッとしたこと、はっとしたことを「ヒヤリはっと」に記入し、行動を把握する事で、行動を制限しないような見守りが出来るよう努めている。 	<p>身体拘束に関しては年に1回、勉強会を実施しています。ユニット会議では具体的な事例やマニュアルを基に気づきを共有できる場としています。また言葉遣いにも気をつけ尊厳を大切に対応し、利用者の行動を止めることなく職員が連携して見守るよう支援しています。玄関は日常的に鍵をかけることなく自由な暮らしを支援しています。</p>	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は外部研修・自主研修を通して虐待防止法等、認知症ケアについて学んでいる。職員間でも意識を高めてケアにあたっている。 ・ユニット会議においても研修し、職員で共有しケアについて検討する機会を設けている。 ・常に入居者の視点に立って考える姿勢を大切にしている。 		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの原点として、権利擁護の視点に立ち、入居者の暮らしに関わらせて頂いている。安心・安全はもちろん、入居者の幸せを願い、その実現のためになにが必要かを常に考えている。 ・日常生活自立支援事業や成年後見制度については、外部研修の機会に受講する。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は1名の新規入居の契約がある。ご本人やご家族の話を傾聴し、話し合いの中で課題を明らかにする事で、不安の軽減に努めている。 		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、入居者の言及された事の真意を汲むべき姿勢に職員一同努めている。 ・日常の面会以外にも運営推進会議にて、ご家族の意見を聞く機会がある。会議には行政の方の参加もあるので意見交換ができ、運営に反映させることが出来るよう努めている。また家族向けの広報誌で入居者、家族の意見や要望について話し合った結果を報告している。 ・苦情として言葉に出されていないことについてもご家族と接している時に感じた事は、迅速に申し送りにて改善している。 	<p>家族の面会時には直接意見を聞いたり、介護計画の更新の際にも家族の意見や要望を聞き対応をしています。遠方の方にも必要時にはその都度、電話で近況を報告し意見を聞いています。サービスに関する個別の意見が出され、出来る事は速やかに対応し報告しています。また行事に参加できるように早めに知らせたいとの要望があり、家族の面会が増えたことで意見や意向も聞く機会も増え運営に反映しています。</p>	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議等が出た職員の意見や提案を、リーダー会議を通じて管理者に伝える事が出来る。 ・個人面談の機会もあったり管理者がそばにいますので、いつでも意見や提案が出来る環境にある。 	<p>毎月行われるユニット会議では、活発に意見交換が行われ、業務改善や設備、行事等多岐にわたり意見が出され実践しています。管理者は、職員に個別面接を行い、意見や思いを聞き職場環境を整えています。職員にはスキルアップのための勉強会があり法人の支援もあり、研修計画を立てて随時参加しサービスにつなげています。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生として、職員にポイントが支給され、買い物、旅行などに使用している。 ・資格習得へのサポートがあり、意欲向上に繋がっている。 ・職場レク等、食事界等を通じて職員間の親睦を深める機会が設けられている。 ・人事偶制度の中で、役割ベースで資格進級がある。 		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・研修には個人で参加する場合もあるが施設として参加する場合もある。参加出来る様に勤務体制を調整している。 ・ユニット会議では、毎月の自己研修・研修の報告の分かち合い等で日常へのケアに活かすように努める。 ・リーダーとのコミュニケーションの時間を設ける等、職員をOJTの中で育成している。 ・看護職員による医療的ケアやベッド上での介助など重度化に向けた研修も行い、スキルアップに繋げている。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府グループホーム協議会や乙訓地区グループホーム連絡会に積極的に参加し、意見交換・情報の共有に努めている。 ・他事業所に見学に行く機会もあり、スタッフ間の交流や意見交換も行なっている。 ・近隣のグループホームの夏祭りに参加した。また、こちらにも来て頂き楽しい交流がもてた。 ・当社の全社研修に施設長研修、リーダー研修、スタッフ研修があり、階層ごとの交流がある。 		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・場所と周りの環境に慣れてもらうためにまずは職員との良好な関係が持てる様、個人を尊重しプライドを傷つけない言葉がけと見守りに注意している。 ・これまでの生活習慣等をご本人から聞いたり、行動より察したりして早い時期に慣れて頂けるように努めている。 		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の状況も把握し、ご本人とご家族の思いと要望を受け止めて、援助計画に反映してケアを実践している。 ・環境の変化の様子もお伝えして、安心と新たな要望が言い易い関係作りと信頼関係を築くことに努めている。 		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・家族として心配している事、して欲しい事は嚴重に受け止めている。 ・ご本人の好む事、興味などを家族に情報としていただき、これまでに継続してきたことが変わらずに行えるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・自発的な動きを大切にしている。また自ら表現する事の少ない方にもアセスメントする事で、出来る事、出来ない事を把握し無理の無い提案をしてみても(テーブル拭き等)、生活感を感じてもらったり感謝の言葉を添える事により存在感や自信へと繋げている。 ・職員は笑顔を持って、また、入居者の笑顔が見られるようによい関係性の構築に努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・体調についてはもとより、心身の変化についても伝えて理解を頂いている。家族の心配などにも丁寧に説明することで安心に繋げている。家族の面会により表情が明るくなったり安心されることを伝えている。家族の理解と信頼関係が築かれるように、面会の機会が増えるように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・年賀状や暑中見舞いを出される方のお手伝いをして馴染みの方との関係を大切にしている。 ・ドライブに行った時には住んでおられたところを通ったりすると、思い出がよみがえったり会話がはずむ事もある。 ・買い物も馴染みの場所へ出かけるようにしている。	知人が面会に来られることもあり、その際リビングや居室、相談室等でゆっくり過ごせるように支援をしています。外出時には思い出の場所に出かけ、当時の話で話が弾む事もあります。家族と共に自宅に出かけたり、冠婚葬祭などに行く時は準備などの調整を行い馴染みの関係が途切れないように支援をしています。手紙や年賀状のやり取りに関しても支援を行いこれまでの関係継続に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・職員は他者同士の関係作りの橋渡しをしている。 ・他者の好みや得意な事など他者同士を紹介しあったり、共通の話題を見つけて会話を繋げている。		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退所された方の家族と会った時には思い出話をしたりして、懐かしく時間を過ごす時もある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・思いや希望、意向の把握に努めている。ご家族より意見をいただきケアプランに反映させている。 ・自分の意向を伝えにくくなった方には日中の過ごし方や他者との関わり、レクリエーションを通じて出来る事や好みの発見等により、楽しみを広げられるよう支援している。一人一人にあったレクリエーションを行い、無理なく楽しめるようにしている。 ・またアセスメントを行い出来る事や出来るための支援方法を考え役割を持ってもらう等、自己を肯定できたり自信に繋がられるように努めている。	利用者や家族の思いを入居時の面談で聞き取ったり、以前のケアマネジャーから情報を得て意向を把握しています。日々のケアを通して心情を汲み取り、出来る事や出来ない事、意向等はセンター方式の様式を利用してアセスメントを行い、ユニット会議の中でも個々の利用者の思いを検討し職員間で共通認識を持てるよう取り組んでいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・新しい入居の方にはセンター方式のシートを利用して、ご家族に生活歴、習慣、環境、好み等の情報提供のお願いをしている。 ・日々の関わりの中でもその人となりを引き出せる様会話を大切に、またその行動からも情報を読み取り、ケースに記録していく。 ・各職員が知り得た情報はユニット会議で共有していき、ご本人の全体像に繋げていく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・朝の申し送りには気になる入居者の体調・心身状態を伝え、施設全体で見守っている。 ・歩行状態、排便状態等を観察して下肢筋力や体調の把握に努めている。 ・夜間の入眠状態、体調や便秘等が気持ちに影響していないか等も考えながら、1日の過ごし方を考えていく。 ・1日をどう過ごしたいかをご本人に聞いて、共に組み立てる事も出来る。天気の良い日には散歩や外気浴にて気分転換をしている。		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・家族の方にも現状をお伝えしながら、ご本人の思いもお聞きしたり、月一回のユニット会議におけるケアカンファレンスによって、職員の意見やアイデアを確認し、それらを援助計画に盛り込んでいくことを基本に作成している。できることの継続のためにアセスメントを行い、環境を整えたり、支援の方法を探っていく。職員で共有してケアをしていく。 ・体調変化、直ぐに対処すべきことが生じた場合には、ミニカンファという形態をとり迅速にケアに当たっている。	本人や家族の思い、アセスメントの基に介護計画を作成し、6か月毎に計画の見直しを行っています。モニタリングは毎月行い個々の計画の再確認を行い、状況の変化のある利用者は再アセスメントをして見直し一人ひとりの状況に合わせた介護計画を作成しています。見直しの際には医師や看護師の意見を参考にし、カンファレンスを開き個々の支援計画を見直し評価を行い、所定の様式に記載して情報の共有を行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・援助計画は定期的にモニタリングを行い(必要時には随時行い)、再アセスメントを行い、計画・援助内容の見直し、次なる援助計画の作成に努めている。特別な変化(入院等)の場合は、その時点で現状に即した介護計画の作成に努めている。家族の意向、看護師や主治医の視点をもらいながら、本人本位の計画の作成に努めている。 ・日々、一人ひとりの様子やケアをケース記録として残している。その記録を元に、アセスメント、モニタリングとして記録に残しながら次なる援助計画に向かっている。 ・記録と同時に日々のお一人おひとりの申し送りは職員のコミュニケーションと実践に結ぶものとなっている。 ・体調に変化が生じたときは観察に必要な事項を別表にして記入している。排尿・排便の表を活用して体調把握に努めている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・当所では、居宅支援事業所と訪問サービスがあり、ホームヘルパー、ケアマネジャーも在籍し、在宅での智慧、他施設の智慧を教えてもらったりすることができる。利用者の状況に伴い、歩行器、徘徊防止センサー等福祉器具の情報提供、導入使用に繋げている。			

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・幼稚園児の訪問や傾聴ボランティア、大正琴の演奏など地域の方々に協力を頂き充実した生活の支援につなげている。また、年2回の避難訓練における消防との連携は安心安全への協働となっている。 ・月に一回、書道のボランティアの先生が来られる。併せて週に一度の練習日も設け、上達が喜びとなっている。 ・畑で野菜作りをしてくれる人もあり季節の野菜が食卓にのぼっている。また、サツマイモができる秋は芋ほりを楽しむことができている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・基本的にはご本人・ご家族の希望のかかりつけ医の受診体制が整備され、安心して受診してもらっている。訪問診療を受けられる方やご家族対応で受診される方もある。 ・診療の記録は在宅療養手帳に記入される。これには看護師や職員も気付きを書いている。一人ひとり医師会が登録したご本人の手帳があり、かかりつけ医、看護師、職員が連携して体調の見守りをしている。 ・必要に応じてかかりつけ医の他に歯科医、地域の専門医の訪問診療と連携がある。	以前からのかかりつけ医の継続を基本とし、利用者の状況に合わせて定期的な往診があります。其々の医師とは療養手帳を用い情報の共有を行い変化があった場合及び家族の面会時に状況の説明を行っています。其々の往診医とは24時間連絡が取れ、夜間や緊急時には其々のかかりつけ医と相談し連携がとれる体制が構築されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・非常勤看護師による医療管理をしている。 ・予定ではない週においても診てもらったり、相談出来る体制となっている。必要時に医師への連絡もしてもらったり、相談、アドバイスをもらいながら体調の見守りをしている。かかりつけ医の指示により訪問看護師が入ることもある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院された利用者には、退院後の生活がよりスムーズになっていただけるよう、安心に繋げるよう面会に行っている。 ・基本的にはグループホーム職員は第三者扱いとなり個人情報の関係で情報をいただけないため、ご家族と連携し、ソーシャルワーカー・看護師等と密に連絡を取り、現状を確認し退院後のケアを含めて情報の交換をする。		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族と共にかかりつけ医から状態説明を聞いたり、本人や家族の意向に添う。 ・看取りの指針を説明し、文書でターミナル時の対応を確認している。 ・ご家族の協力や医療職との連携により、人生の結びの時間を最後までその方の尊厳を大切にできるケアに努めている。 	<p>契約時に重度化の指針の説明を行い、家族の同意を得ています。看取りについては、利用者の状況をみながらホームで行える事について再度説明をし、家族の理解と同意の基、担当医の意見も踏まえ方針を確認して希望に添えるように話し合いを行いながら支援しています。また職員は看護師を中心として看取りの勉強会を行っています。</p>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急マニュアルを常時スタッフルームに掲げてあり、職員同士で確認している。また、他ユニットの方で緊急事態発生時の様子も朝礼等で共有してもらい応急手当、初期対応への自覚が日常的にも深められるようにしている。 ・救命講習も受けるよう努めている。 ・救急時には緊急持ち出し書類として備えられている。(薬や既往歴、現病歴等利用者の情報が纏められている) 	/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルの確認と共に消防署の協力を得て避難訓練を毎年2回実施している。新人職員には消火器の扱い方も含めて、実地指導をしている。 ・入居者お一人おひとりの状況に合わせて、職員が避難の順番等を確認している。施設管理者が、地域に協力をはたらきかけている。 ・避難の妨げや火災の防止のために必要機器を点検している。 	<p>消防署の指導のもと、昼間や夜間の災害を設定した訓練を年2回行っています。通報から初期消火、避難訓練も含めた訓練は近隣の協力体制もあり、利用者と一緒に行っています。また、法人の寮が近い事も協力を得る事ができ、非常食も3日分常備しています。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・お一人おひとりの誇りやプライバシーを大切にしたい言葉遣いや対応を心がけている。 ・排泄時や入浴時等の羞恥心等にも配慮し、気持ちよく過ごしていただけるよう心がける。 ・一人の言葉や動作の中にその方の人生の歴史が刻まれている。それらの重さを大切にしたいと願い、傾聴し、その方の理解につなげている。その方の存在の肯定を何よりも大切にしている。 	<p>年に1回接遇や尊厳、虐待、プライバシー保護についての研修を行っています。基本的には敬語で丁寧な言葉遣いを行うように指導し、一人ひとりに尊敬の気持ちを持って丁寧な対応に努め、声の大きさにも留意しています。不適切な対応を行っている場合はその都度職員間でも注意し合うようにしています。また、同性介助を心掛けています。</p>	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・何よりも入居者お一人お一人の表現を受け止め、自分の思いやかんじていることが表現できるよう自由な雰囲気作りに努めている。 ・選択出来る様提示する方法を取ったり、意思表示の難しい方には入浴時の衣類と一緒に選んだり、配茶事の飲み物を選んでもらったり等、ご本人の好みやその時の気持ちを大切にしている。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を大切に使いたい、役に立ちたいと花の水やりを役割にしている方がいる。自分では何をしたいかわからないと言う方には話かけて温かみを感じてもらったり、安心できる居場所作りをしている。ゲームをしている方もいれば、その場にながら新聞を読む方、また入室して休息とる方、安心してそれらが出来る環境の創造を大切に支援し、見守らせて頂いている。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自分で口紅を塗って華やかな笑顔をみせて下さったりきれいになりたい気持ちを持ち続けておられる。月一回は美容師が訪問してくださり、その方に似合ったカット、顔そり等をしてもらっている。 ・起床時、入浴時には身だしなみ、服装等一緒に整えている。 		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ねぎを上手に切って下さる方がいらっしゃり、お願いをしている。 ・立って出来る方が少なくなっているが、座って出来る事、テーブル拭きや盛り付けなどを一緒に行ったり、味見をお願いしたりして、自分達も関わったという気持ちがより食事を楽しみにしている。 	職員の中には栄養士もおり、重度化によって献立や食材を用意する事も増えていますが、好みのものを献立に取り入れたり、出来る事は一緒にしながら手作りの食事を楽しんでいます。食事の準備や盛り付け、後片付けも一緒に行っています。咀嚼や嚥下の状態により、刻み食やミキサー食など個別の対応も行っています。食卓では職員も同じテーブルで見守りながら一緒に食事を摂っています。裏の菜園で収穫した野菜が食卓にのぼる事もあります。また、イベント食で弁当をとったり、行事で外出に出かける等、食事を楽しんでもらっています。	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理については栄養士がサポートしている。お一人おひとりの状態や体調による個人差を鑑みながら毎回の食事量を記録し、習慣、好み等も考慮して、必要な方には刻んだり、ミキサーにかけたりとろみをつける等の工夫もして咀嚼・嚥下の力にあった形態にして、バランスもよい状態で食してもらえるように支援している。 ・水分が少ない方には声をかけたりお茶ゼリーにして摂取を促している。 ・適切な運動量の確保による相互作用を心がけている。 ・毎月月初に体重測定を行い、栄養士に報告している。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・うがいに緑茶を利用して、除菌やさっぱり感に繋げている。 ・毎食後の口腔ケアにより口腔内の清潔を保ち口臭予防をしている。また、口腔ケア時に義歯の状態を見守り、必要に応じて受診につなげている。 ・自分で歯磨きをされる方は、声かけ・見守りをする事で、磨き忘れがないように支援している。 		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意・便意の訴えがあればすぐにトイレに案内しスムーズな排泄につなげている。訴えの無い方は、お一人おひとりのしぐさの観察や排泄パターンに応じたトイレの声かけを行い、トイレでの排泄が行えるように支援している。 ・下肢筋力が低下している方には二人介助で出来るだけ便座に座ってもらい、気持ちの良い自立に向けた排尿・排便を支援している。 	<p>体調の見守りの中で、ドクターの指示や必要な方には排泄状況をチェック表に記録しています。また、各々の排泄のパターンを把握してトイレの声かけや誘導を行い、気持ちのよい排泄を心掛けています。重度の方にも二人介助でトイレに座ってもらい、トイレでの排泄の支援を行っています。使用する紙パンツやパッドの検討を行い、生活リズムを知る事により失敗が少なくなり、パッドの使用量が減った事例もあります。</p>	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と共に自力排便の困難な方も増えて、かかりつけ医より緩下剤使用の方も多くなっているが、薬に頼らず飲食物による整腸に努めている。入浴時で体を温めたり腹部マッサージをして腸の動きを助けたり朝食時にヨーグルトや、おやつにホットミルクやさつまいもを使ったお菓子を出了たりと工夫をしている。そのお一人おひとりの状態をみながら、水分の摂取、繊維の多い食べ物の提供等の工夫をしている。 ・また適度に身体を動かす等により便秘を予防している。緩下剤服用によりすっきりとした排便になる方もあり、その方に応じた便秘の予防と対応を工夫している。 		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や順番などの決まりはなく、毎日が入浴可能日になっている。入りたい時に入れるように、一回一回一人ひとりの気持ちを大切にしている。 ・排泄状況、体調への配慮をしながら、身体の清潔保持、心身のリフレッシュを大切にしている。入浴時は 羞恥心への配慮をしながら入居者とのコミュニケーションにより、お互いの気持ちの交換を楽しむ時となっている。 ・シャワー浴をするときは行う時は足浴をしながらして全身が温まるよう工夫している。 	入浴時には利用者の希望を聞き体調に合わせて支援し、入浴を拒む方にはタイミングやその方に合わせた声かけを工夫しています。身体状況により機械浴や二人介助も行い安全に入ってもらっています。希望があれば就寝前及び毎日でも入浴を行っています。寛いだ気分で入浴してもらえるように、季節感を味わえる菖蒲湯やゆず湯の実施や好みのシャンプー、リンスを用い、入浴を楽しんでもらえるよう心がけています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・季節により体調が異なる方、冬場は咳がしやすい方、乾燥肌にてかゆみの訴えがある方にはローションを塗ったりして乾燥を防ぎ痒みを和らげて安眠に繋げている。室温湿度にも注意をしている。日中の休息のリズムをとってもらう等の支援も大切にしている。 ・夜間歩行不安定な方は転倒防止のために、トイレ時の見守りを徹底して安全を確保しながら安眠につないでいる。 ・入眠時間が遅い方には空腹感がみられ、ホットミルク等を提供すると気持ちも落ち着き穏やかな入眠につながっている。 		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・お一人おひとりの持病と服薬の目的、副作用等を理解してスタッフが管理を行っている。 ・ご自身の服用している薬について聞かれた時はきちんと説明し、理解して服用して頂いている。 ・定期薬以外に服用する風邪薬等は、改善等症状を見ながらかかりつけ医の指示を確認していく。 ・投薬の間違い等がないように、処方箋管理表及び服薬管理表の徹底記入をしている。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・習字、合唱をしていた方など好きな事や得意な事、日々の生活の中に取り入れている。歌が好きな方は歌ビデオに集中し、手拍子をたたきながら歌ったりして集中、充実した時間をすごしている。 ・夕方になるとリビングのカーテンを閉めてくれたり、職員が洗濯物を取り入れると率先して畳んでくれる方もいる。 ・気候に応じて、近回りの散歩、ドライブ、ガーデンティータイムやランチの時間など、外気に触れる喜びと共に気分の転換を図っている。外食を楽しむときもある。 ・広告をみて食べたいおやつがあれば注文したりして、楽しみを持っていただいている。 		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・天候のよい日は朝の散歩をそれぞれの身体状況にあわせて実施、支援している。花の水やりなど、その日その日の希望で戸外での活動も大切にしている。庭のテーブルでゆっくりとくつろぎながらお茶の時間も持つように努めている。 ・季節に応じて、近くの神社へのお花見(初詣、梅、桜、紅葉)、コスモス畑への散歩、ドライブでは四季折々の景色を楽しんでいる。 ・近くの喫茶店に行ったり、外食に出かけることもある。 ・家族と外出してお食事に行く方もおられる。 	<p>日常的に気候と体調に合わせ近隣に散歩やドライブに出かけています。季節ごとにも、遠足や花見を予定し楽しんでもらっています。玄関先のテラスでは外気浴をしたりおやつを食べながら話が弾み歌を歌うなど、外に出る機会を多く作っています。また家族が面会に来られた時には一緒に散歩に出かける方もいます。</p>	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・現在はお金の管理が個人的には出来なくなり、買い物の代金などは家族請求となっているが、希望があれば買い物に行ける環境を作っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・年賀状をご家族が用意してくださる方もあり、書かれるのを励まし、見守っている。投函にも同行している。 ・携帯電話を使用されていた方もいられたが、聴力の低下により現在は使用されていない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・玄関は外来者を迎える場であり、花を飾ったり気持ちのよい空間に心がけている。 ・台所からは料理をする音が聞こえ、匂いから「今日の献立は何か」と想像する楽しみがある。 ・居間・兼食堂はスペース的には狭さを感じることもあるが、テーブルの配置を工夫したり等、共有空間に暖かさと居心地のよさを感じさせている。 ・南側のソファに座って暖かい日差しを浴びながら好きなテレビを見ながらくつろぐこともできる。 ・家族の面会の際はリビング、居室だけでなく、相談室も利用して頂き会話を楽しんで頂いている。 ・個浴においてゆったりと入浴を楽しむことができ、職員は介助を通して入居者お一人おひとり一対一で親しくコミュニケーションをとることのできる場となっている。 ・トイレ使用後は臭いに気を付け換気や除染の対応等、清潔に保つよう職員全員が都度、清掃を心がけている。	共有空間には季節の飾り付けがされ、ユニット毎で生活している方に合わせた環境が整えられています。リビングのテーブルやイスの配置についても好きな場所で自由にゆっくりと過ごしてもらえよう落ち着いた空間を作っています。また、トイレには暖房器具や扇風機、消臭機が設置され、廊下の消火器ケースにはガードカバーを付け安全に配慮しています。	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(たけ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・テーブル席は入居者同士の関係を活かし、案内したり、レクリエーションを行う時にはしたいことによって自由に席の移動を行っている。皆で楽しむ空間と共にソファで一人くつろいだり、テレビを見たり、新聞や本を読んだりと自分の楽しみが持てる時間がある。お一人お一人のこうした居場所を大切にしていきたいために職員は常に見守りと関わりへの配慮をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・仏壇をおいておられる方がいる。畳の上に布団を敷いて寝ておられる方もあり、これまでの生活の継続を大切にしている。居室にご家族の写真やたくさん貼って、お孫さんの成長やご家族との繋がりを大切にされている。	居室は明るく整頓され、寝具においてもベッドの方もあり布団の方もできるように、自宅での生活習慣を尊重し継続する事が出来ます。自宅で使い慣れた、気に入っている家具や椅子、オルガン等を持ち込み自宅に近い環境になるよう設置したり、家族の写真を部屋に飾るなど、一人ひとりに合った居心地の良い空間を作りを支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・開所以来13年以上お住まいになっておられる方にとっては、居間・台所や洗面所と様々な空間が、ご自分の家同様に安心できる場所になっていると思われる。 ・居室の出入り口や廊下には手すりが設置されている。立ち上がりやふらつきなどを予防し、安全に過ごしてもらっている。 ・居室入り口には段差はあるがスロープ状になっている所の滑り止めにて対応している。 ・トイレや浴室の掲示をしてわかり易くして安心感に繋げている。 ・新しい入居者の方にはトイレや居室への移動に付き添い、安心・安全に過ごしてもらい、早く慣れてもらえる様心がけている。 ・新しい入居者も徐々に施設内に慣れて、見守りの中でトイレ、ご自身の居室にご自身で向かう事が出来ている。 ・感染予防として手すり等の消毒に努めている。		